

# 令和5年度

## 公益財団法人 小松市まちづくり市民財団事業計画

当財団は石川県・小松市が設置する公共施設等について、経済的かつ効率的に管理運営を行い、施設利用者へのサービスの向上と健康及び住民福祉の増進、地域社会の健全な発展に寄与することを目的としております。

令和5年度は、各種事業が円滑に進捗するよう、基本方針((公財)小松市まちづくり市民財団CSR)に基づき事業を展開してまいります。

### ■企業理念

公共施設の経済的かつ効率的な管理運営を通じて、施設利用者へのサービス向上と健康及び住民福祉の増進に寄与し、地域社会に貢献します。

### ■行動理念

- 1 小松市のまちづくりに貢献
- 2 持続可能な一体管理と進化

### ■経営計画

- 1 小松市都市デザイン
- 2 小松市NEXT10年ビジョン
- 3 こまつ創生戦略PART2
- 4 小松市共同参画推進プラン

### ■経営基本方針

- 1 経済的かつ効率的な管理運営を継続し実行します。
- 2 お客様満足度の向上をめざします。
- 3 楽しく笑顔あふれるまちづくりをめざします。
- 4 SDGsを推進し持続可能な経営をめざします。

### ■CSRの取り組み

- 1 安心・安全・安定を最優先に施設を管理運営
- 2 常にお客様の視点にたつてサービスを向上
- 3 ゼロカーボンシティを目指し、持続可能な社会に貢献
- 4 地域に貢献し、地域とともに歩む
- 5 コンプライアンス・人権を尊重し、高い透明性を確保
- 6 人間成長を目指した財団経営

### 【新型コロナウイルス感染症について】

政府は、新型コロナウイルスの感染法上の分類を5月8日から、季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げると決めました。5類への引き下げに伴い、「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」は廃止されますが、今後国から発出される対処方針等を基本に、利用者に対し安心・安全な施設提供に努めます。

### 【令和5年度事業】

#### ◆ 指定管理者制度に基づき管理する施設

- |  |    |        |
|--|----|--------|
| ○ 小松運動公園末広体育館他9施設  | 継続 | 令和7年度末 |
| 9施設:末広野球場、末広陸上競技場、末広テニスコート<br>末広屋外相撲場、末広屋内相撲場、末広屋外幼児<br>プール、念仏林グラウンド、安宅海浜公園、<br>梯川ボートハウス |    |        |
| ○ 石川県立小松屋内水泳プール、末広屋外水泳プール  | 継続 | 令和7年度末 |
| ○ 小松市武道館   | 継続 | 令和7年度末 |
| ○ 小松市民センター、北部児童センター  | 継続 | 令和7年度末 |
| ○ 小松市大倉岳高原スポーツ・レクリエーション施設  | 継続 | 令和5年度末 |
| ○ 石川県立航空プラザ  | 継続 | 令和7年度末 |
| ○ こまつドーム   | 継続 | 令和5年度末 |
| ○ 小松市公会堂   | 継続 | 令和6年度末 |
| ○ 東部児童センター   | 継続 | 令和7年度末 |
| ○ 西部児童センター   | 継続 | 令和7年度末 |
| ○ 小松市立老人福祉センター 千松閣   | 継続 | 令和7年度末 |
| ○ 小松サン・アビリティーズ   | 継続 | 令和7年度末 |
| ○ こまつまちづくり交流センター   | 継続 | 令和7年度末 |
| ○ 小松市芦城センター  | 更新 | 令和9年度末 |
| ○ こまつ曳山交流館及びジャパン九谷のふるさと「松雲堂」   | 更新 | 令和7年度末 |

#### ◆ 補助金の交付を受けて管理する施設

- 小松総合体育館

#### ◆ 交付金の交付を受けて管理する施設

- 稚松児童クラブ
- 東陵児童クラブ
- 安宅・牧児童クラブ

#### ◆ 一部委託を受けて実施する施設

- 地区体育施設管理運営事業

### 【スポーツ振興事業】

- スポーツアドバイザー事業
- 選手育成強化と医科学トレーニング事業
- こどもスポーツ大学開催事業
- スポーツオアシス事業
- 中学校運動部活動地域移行

令和5年度の事業実施にあたり特記すべき事項は次のとおりです。

◆ 施設管理運営事業

- 常に安心安全な施設提供を心掛けるとともに、施設の長寿命化を図るため、施設職員と防災・営繕グループ職員による点検を徹底し、小松市との情報共有を図りながら、適正な施設管理に努めます。
- 昨今の急激な燃料価格の高騰により、光熱費が増加し、施設運営に多大な影響を及ぼすことが見込まれております。令和5年度も引き続き小松市と連携し、省エネ設備への転換を推進します。

◆ 人材育成の推進

- 接遇研修やリスクマネジメント研修などを引き続き開催し、加えて知識を深めるための研修や、利用者満足度を高めるための研修を実施し、はつらつとした人材育成に努めます。
- 令和4年度から実施した「職員健康セミナー」を継続実施することで、職員の健康増進に努めます。

◆ 公金等の管理の徹底

- 公金等に対する事務取扱に遺漏がないよう内部監査を継続して行い、指導、改善を徹底します。

◆ スポーツの振興

- こまつこどもスポーツ大学、スポーツアドバイザー事業を開催することで、小松市のスポーツ人口の底辺拡大を図ります。また、選手育成強化と医科学トレーニング事業では、各種競技の優秀な人材を発掘し、その能力を伸ばし、全国トップレベルのアスリートの育成を目指します。

◆ 文化の振興

- 令和5年度から「こまつ曳山交流館・ジャパン九谷のふるさと松雲堂」の指定管理者に再度選定されました。今後も「歌舞伎のまち小松」の情報発信拠点とし、全国にその魅力を伝えてまいります。

◆ まちづくり事業の推進

- 「こまつまちづくり交流センター」をまちづくり拠点施設として位置づけ、市民のボランティア活動をサポートする等のまちづくり事業を推進してまいります。